

新発田税務署管内税務団体協議会長賞

東京オリンピックにかけた想い

胎内市立 中条中学校 二年 中 村 結 愛 さん

57年ぶりの東京オリンピック開催。私は聖火ランナーの一人として走らせてもらいました。私が走る際、周りのサポートランナーさんや警備員の方々など色々な人に支えられていることを走っていて実感しました。

この聖火リレーを含む東京オリンピックに多くの税金が使われていることを知り、多くの税金を使う価値があったのかを考えてみました。

東京オリンピックに使われた税金について調べてみると、東京都と国の「大会経費」と「関連経費」の合計額は、都が1兆4千519億円、国が1兆3千59億円。この金額は都と国の一般会計から支出されており、財源はいずれも税金だそうです。

これは東京都民一人あたり「10万円」で、全国民一人あたりの「1万408円」となるそうです。内訳は東京都の競技会場の建築費や、国の新国立競技場の整備費、新型コロナウイルスの感染対策費、五輪終了後に使用される既存施設の改修費用などだそうです。

このように東京オリンピックには、たくさんの税金が使われていたことが分かります。

多くの税金がかかっている東京オリンピックを開催する価値があったのか賛否両論ありますが、私は、東京オリンピックを開催して良かったと思います。なぜなら、東京オリンピックをしたことによって、世界中から注目され、コロナウイルス終息後、日本が賑わい、以前よりも更に日本が発展していくことにつながると思ったからです。そして私も含め、多くの人々が東京オリンピックによって、元気や勇気をあたえてもらいました。

税金とは一人一人の努力や想いが詰まったものだとは私は思います。消費税であれば物を買うときの想いがあり、所得税であれば働く人の努力や想いがある。住民税であればそこに住む人の想いがある。このように税金がかかるには必ず何かしらの「想い」があります。

税金という名の色々な人の努力や想いをこの東京オリンピックに使う価値があったと、私は思います。

東京オリンピックは私にとって多くの人々の想いや税金について考えるいいきっかけになりました。

東京オリンピックが終わったから終わりではなく、想いをつなげていくために、東京オリンピックのおかげで笑顔になった分、自分が多くの人を笑顔にしていきたいと思っています。そうしていくことで東京オリンピックにかけた想いがさらに価値のあるものになっていくと思います。